（様式３） 　　 　　　 　（用紙Ａ４）

監理技術者等の資格・工事経験

会社名：

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| （ふりがな）  配置予定技術者の氏名 | | | 予定監理技術者 　　○○　○○ | |
| 最　終　学　歴 | | | ○○大学　○○工学科　○○年卒業 | |
| 法令による資格・免許等 | | | １級土木施工管理技士（取得年月、登録番号）  監理技術者資格（取得年月、登録番号及び登録会社）  監理技術者講習（取得年月、修了証番号）  技術士（総合技術監理部門：建設科目）、技術士（建設部門） | |
| 継続教育（CPD） | | | 団体名：○○○○○○○○会  ・100　Point以上を取得している。（　　）  ・50　Point以上を取得している。（　　）  ・50　Point未満を取得している。（　　） | |
| 同種(類似)工事の経験の条件 | | | 平成18年４月１日以降に、完成・引渡しが完了した下記の要件を満たす同種工事または類似工事またはその他の工事に従事した経験を有すること。(共同企業体の構成員としての実績は、出資比率20％以上の場合のものに限る。）   1. 同種工事：鉄道軌道敷直下における構造物新設工事（けん引・推　　　　進工法等）を元請でかつ単体企業（ＪＶの場合は代表者）で　　　施工した実績を有するもの。 2. 類似工事：鉄道軌道敷直下における構造物新設工事（けん引・推進　　　工法等）を元請でかつＪＶの構成員として施工した実績を有　　　する。 3. その他：道路における箱型函渠工事（内空幅12ｍ以上）の実績を有する。 | |
| 工事の経験の概要 | 工事名 | | 〇〇工事　※過去に属した会社での経験の場合は、その会社名も明記すること。 | |
| 発注機関名 | |  | |
| 施工場所 | | （都道府県・市町村名） | |
| 契約金額 | |  | |
| 工　　期 | | 平成　　年　月　日　～　平成　　年　月　日 | |
| 工事受注形態等 | | 単体／○○・○○ＪＶ（出資比率○○％） | |
| 従事役職 | | 監理技術者、現場代理人、主任技術者、その他の従事役職を記入 | |
| 工事内容 | 構造形式 | ・護岸工　○○○○㎡ | |
| 仮設工法構造等 | ・ | |
| 主要資機材数量 | ・コンクリート　○○○㎥  ・ブロック　　　○○○個 | |
| 施工条件 | ・地形地質条件  ・施工方法 | |
| CORINS登録の有無 | | 有（CORINS登録番号） ・無 | |
| 申請時における他工事の従 事状況等 | 工事名 | |  | |
| 発注機関名 | |  | |
| 工　　　期 | | 平成　　年　月　日　～　平成　　年　月　日 | |
| 従事役職 | | 現場代理人、主任技術者、監理技術者、その他の従事役職を記入 | |
| 本工事と重複する  場合の対応措置 | | 例１）本工事に着手する前の○月○日に工期が完了するため本工事に従事可能  例２）現在、現場代理人（担当技術者）なので変更を行い本工事着手日までに従事可能 | |
| CORINS登録の有無 | | 有（CORINS登録番号） ・無 | |
| 重複申請の有無 | 重複申請工事名 | | | 提出日・提出先 |
|  | | |  |

注1) 公告において明示した資格があることを判断できる必要最小限の項目を記入すること。

　2) 「申請時における他工事の従事状況等」のうち重複する場合の対応措置の理由は、配置予定技術者が専任で本工事に配置できることがわかるように記入するものとする。また、それが確認できる資料を後日、証明資料として提出するものとする。

　3) 「重複申請の有無」については、本工事の入札参加資格確認申請時において、他の入札手続き開始中の工事に重複して申請している場合又は重複申請しようとする場合に記入すること。

4） 「工事経験の概要」の工事をCORINSに登録している場合は、竣工時工事カルテ受領書及び工事カルテ（一般データ、技術者一覧、技術データ）の写しを後日、証明資料として提出すること。ただし、同種工事等CORINSに工事内容(実績)の記載が無い場合は、工事内容(実績)が証明できる資料の写しを後日、提出すること。

　5) 「工事経験の概要」の工事がCORINSに登録していない場合は、契約書の写し、従事していた工事内容が証明できる資料の写しを後日、提出すること。

　6) 「継続教育(CPD)」については､団体の名称､推奨単位数を記載し､該当するところの（　）に○印を付すこと。また、当該団体の推奨単位数を示す資料及び当該団体が発行する単位取得証明書を後日、証明資料として提出すること。

　7) 複数名申請する場合は、技術者毎に各々記入し、後日、証明資料も各々提出すること。

8) 配置予定技術者については、技術検定合格証明書の写しを後日提出すること。また、監理技術者を配置する場合は、監理技術者資格者証の写し（裏表）及び監理技術者講習修了証の写しを後日、証明資料として提出すること。

9) 重複申請する場合は、工事名等を記入すること。（※CORINSの受注時カルテ又は途中変更時カルテ受領書の写しを後日、証明資料として提出すること

（別記様式３－１） （用紙Ａ４）

主任技術者等の資格・工事経験

構成員（会社名：　　 ）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| （ふりがな）  配置予定技術者の氏名 | | | 主任技術者 　　○○　○○ | |
| 最　終　学　歴 | | | ○○大学　○○工学科　○○年卒業 | |
| 法令による資格・免許等 | | | １級土木施工管理技士（取得年月、登録番号）  監理技術者資格（取得年月、登録番号及び登録会社）  監理技術者講習（取得年月、修了証番号）  ○級○○施工管理技士（取得年月、登録番号）  技術士（総合技術監理部門：建設科目）、技術士（建設部門） | |
| 同一工種・同種工事  の経験の条件 | | |  | |
| 工事の    経験の    概要 | 工事名 | |  | |
| 発注機関名 | |  | |
| 施工場所 | |  | |
| 契約金額 | |  | |
| 工　　　期 | |  | |
| 工事受注形態等 | |  | |
| 従事役職 | |  | |
| 工  事  内  容 | 構造形式 |  | |
| 仮設工法構造等 |  | |
| 主要資機材数量 |  | |
| 施工条件 |  | |
| CORINS登録  の有無 | |  | |
| 申請時  におけ  る他工  事の従 事状況 等 | 工事名 | |  | |
| 発注機関名 | |  | |
| 工　　　期 | | 平成　　年　月　日　～　平成　　年　月　日 | |
| 従事役職 | | 現場代理人、主任技術者、監理技術者、その他の従事役職を記入 | |
| 本工事と重複する  場合の対応措置 | | 例１）本工事に着手する前の○月○日に工期が完了するため本工事に従事可能  例２）現在、現場代理人（担当技術者）なので変更を行い本工事着手日までに従事可能 | |
| CORINS登録の有無 | | 有（CORINS登録番号） ・無 | |
| 重複申  請の有  無 | 重複申請工事名 | | | 提出日・提出先 |
|  | | |  |

注1) 公告において明示した資格があることを判断できる必要最小限の項目を記入すること。

　2) 「申請時における他工事の従事状況等」のうち重複する場合の対応措置の理由は、配置予定技術者が専任で本工事に配置できることがわかるように記入すること。また、それが確認できる資料を後日、証明資料として提出すること。

　3) 「重複申請の有無」については、本工事の入札参加資格確認申請時において、他の入札手続き開始中の工事に重複して申請している場合又は重複申請しようとする場合に記入すること。

4) 配置予定技術者については、技術検定合格証明書の写しを後日提出すること。また、監理技術者を配置する場合は、監理技術者資格者証の写し（裏表）及び監理技術者講習修了証の写しを後日、証明資料として提出すること。

5) 重複申請する場合は、工事名等を記入すること。（※CORINSの受注時カルテ又は途中変更時カルテ受領書の写しを後日、証明資料として提出すること。）